



青森総合卸センターニュース

編集・発行 協同組合青森総合卸センター 〒030-0131 青森市問屋町2丁目17-3 ☎017-738-4711 FAX017-738-7323
URL http://www.tonyamachi.com E-mail info@tonyamachi.com 発行/平成25年1月1日



新年あけましておめでとーございます



理事長
元木 一純

昨年の暮は、衆議院議員総選挙で日本中が選挙一色となり、年の瀬に政権交代が行われるなど、一年を通して慌ただしい年であったような気がしております。この政権交代が起爆剤となり長年の懸案であるデフレ経済からの脱却が一日も早く実現できることを期待しております。

このような状況のもと、昨年問屋町は、「問屋町ビジネススクール」開校一周年を迎え、研修内容の充実やカリキュラムのブラッシュアップを図ったほか、金融事業のシステムを見直しするためワーキンググループを設置し、規約等の変更も含めた検討に入っております。また、団地内従業員の福利厚生として保育所誘致の可能性を、保育所設置検討委員会を立上げ、調査をしているところでもあります。

このほか、昨年の10月23日には組合創立45周年を迎え、組合員に感謝のしるしとして「ふるまい会」を開催したほか、記念事業では問屋町散策マップを作成しました。さて、今年の3月末には「中小企業金融円滑化法」の期限を迎えることとなります。われわれ中小企業者にとっては、金融機関の対応等目に見えない影響が心配されていますが、組合員の皆様の事業活動をサポート出来るよう、特に金融面に関しての情報収集に努める所存です。

また、組合の最優先課題であります、組合員跡地問題も継続的に力強く実行します。へびどしの今年も、われわれ中小企業者にとって、生き残りをかけた年になるものと想定されますが、ねばり強くこの状況乗り越えて行きたいと思っております。

新しい年が、組合員の皆様の更なる発展並びに自然災害の少ない良い年になりますよう心からお祈りいたします。

団地内の交流の輪が広がる

第3回問屋町従業員ふれあいパーティー

問屋町内従業員の交流を図る、第3回問屋町従業員ふれあいパーティーが、12月7日(金)に開催された。

当日は、パーティー開始前の午後5時過ぎに大きな地震が発生。開催も危ぶまれたが、開会時間の午後7時には、会場となった青森国際ホテルの宴会場が140名を超える参加者でいっぱいとなり、パーティーは無事に行われた。

1キやアイスなどのスイーツに、参加者は顔をほころばせていた。

充分にお腹を満たした後はパーティーのメインである交流タイムに突入。指定のテーブルに移動をし、他の会社の参加者と名刺交換や自己紹介を行った。「共通点を探せ」と題したテーブル対抗ゲームでは、同じテーブル内で「出身校が同じ」「趣味が同じ」など、お互いの共通点を探し出し、数の多さを競い合った。

ゲーム終了後も共通点をきっかけに会話弾み、より親交が深まった。

パーティーの最後には恒例の抽選会を開催。組合員の(株)東晴から温泉ペア宿泊券、(株)AMBERからはドウクロック

シユのペアランチ券の協賛を受けたほか、任天堂WiiUや液晶テレビ、倉石牛ステーキ肉などを事務局が用意し、計10点の豪華賞品を取り揃えた。さらには、飛び入りで賞品を提供する組合員も現れ、当選番号がコールされるたび、会場内には歓声や悲鳴が響き渡り、大いに盛り上がったパーティーとなった。



名刺交換する参加者

仏事の疑問をスッキリ解決!

問屋町支店長・所長連絡会

組合員の支店・営業所の責任者で構成される問屋町支店長・所長連絡会(青友会)の第2回親睦交流会が12月11日(火)に開催された。青森グランドホテルで行われた同親睦会には、青友会会員24名が参加した。

親睦交流会では見識を深めるため、毎回、多方面からゲストを招き、講演会を開催。今回は、冠婚葬祭を営む組合員の(株)青森新生活互助会の須藤専務を講師に招き、「仏事Q&A」と題した特別講演会を実施。参加者には仏事に関する問題が出され、講師が

正解発表しながら詳しい解説を行った。

講演会では、「香典袋にお金を入れるときの作法に特に決まりはなく、よく言われる上下裏表などの決まりには根拠がない」、「仏事においては、死は汚れたものではなく忌み嫌う必要がないので、清めの塩を使わなくてよい」など、

これまで正しいと思っていたことが覆され、一同驚愕していた。参加者からは次々と質問の手が上がり、講演会後も須藤専務への質問が続いた。

講演会終了後に行なった懇親会では、参加者全員が今年一年を振り返ったスピーチを行うなど、会員相互の親睦を深めた。



講師を務めた須藤氏



スピーチする青友会会員



賞品を手にし喜ぶ参加者

組合員の合併及び出資金等の変更承認

第8回理事会

組合員の合併及び出資金等の変更等を審議する第8回理事会が12月21日(金)に開か

れ、審議の結果、全て原案どおり承認された。また事務局からは、盛会のうちに終了した第3回問屋町従業員ふれあいパーティー等について報告を行った。主な案件審議は次のとおり。一. 組合員業種区分の見直しについて 二. 組合員の合併承認について 三. 組合員の土地取得に伴う出資金等変更承認について 四. 青森市はまなす会館の土地使用借借契約の期間延長等について 五. 組合員跡地買取り資金の借り換えについて 六. 問屋町新年合同厄祓の実施について

業務報告

主要事項

- 12月
 - 2日▽中小企業組合士検定試験
 - 5日▽北日本流通VAN(株)第3回取締役会
 - ▽青森中金会・緑葉会役員会・合同講演会
 - 7日▽第3回問屋町従業員ふれあいパーティー
 - 11日▽問屋町支店長・所長連絡会第2回親睦交流会
 - 12日▽商工会議所会員交流会
 - 14日▽県中央会会長副会長会議
 - 17日▽金融審査会
 - 18日▽コンピュータ・カレット運営委員会
 - 19日▽第4回問屋町従業員モ

ニター会議

- 20日▽第2回保育所設置検討委員会
- 21日▽第8回理事会
- ▽市高度化事業団体連絡協議会第2回幹事会
- 20日▽第2回保育所設置検討委員会
- 25日▽第3回金融事業検討ワーキンググループ

問屋町ビジネススクール

- 4日▽給与実務の基礎の基礎
- 6日▽給与実務の基礎の基礎
- 12日▽4時間で営業が変わる魔法のテクニク

謹賀新年

旧年中は格別のお引き立てをたまわり厚くお礼申しあげます。本年も変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願ひ申しあげます。

青森問屋町配送(株)

代表取締役 元木 一純
常務取締役 赤坂 晃

北日本流通ヴァン(株)

代表取締役 橋本 昭一
専務取締役 藤本 和夫
常務取締役 森山 慶一

新年のメッセー

(協)青森総合卸センター事務局職員

専務理事 藤本和夫

本年もよろしくお願いいたします。辰年は荒れと聞いたことがありますが、昨年は公私とも大変な年でした。内外とも難問山積ですが巳年の今年こそは、社会が良い方向に、特に経済には上向いてもらいたいものと切に願っています。

昨年、組合は課題であった「組合員跡地処理」が比較的順調に進み、144社の組合員と近年では最高の組合員数となり、組合創立45周年の掉尾を飾ることができました。

また「問屋町ビジネススクール」もブラッシュアップできましたし、金融事業をはじめ様々な課題にも端緒をつけることができました。

個人的には脳が反乱を起こさない賢い食事と運動で健康な年になりたいと思っています。そして、あわよくば10kgは減量したいと思っています。

皆様のご健勝とご健康をお祈りいたします。

事務局長 赤坂晃

青森問屋町配達部常務取締役

昨年の新年メッセージでは、仕事ではなく自分の体を実現可能な目標を2つ設定しました。それは、体重5kgの減とベルトの穴を1個縮めることです。保健師の指導のもと、1ヶ月ぐらいは順調に頑張ったのですが、その後は体重計にも乗っていない有様で、結果は惨敗でした。(現状維持です)

達成できない罰ゲームはこれといっではないので、今年も再挑戦し頑張ります。

みたいと思っております。

今年も新年早々から重大案件が待っています。邁進のパワー維持と体調管理に気をつけ乗り切って行きたいと考えております。

また、昨年もナチュラル・ハザードが多数発生し、規模も拡大傾向となっております。神頼みではありますが、災害の少ない年になってもらいたいと心より願っております。

総務課長 張山歌子

今年の目標はズバリ3kg痩せたいです。ここ数年の健康診断で「痩せすぎ」↓「痩せぎみ」↓「ふつう」となり、今年の健康診断で「太りすぎ」とならないよう何とか運動して痩せたいと思っております。

昨年の秋からフィットネスに行っておりませんが、なかなか成果が表れず苦しんでいます。実はフィットネスに行っているから大丈夫と思いきや帰ってから、ビールを飲んでしまうことが原因と分かっているのです。

来年の新年のメッセージでは「痩せました」という報告ができるよう自分にきびしく少しビールを控えたいと思います。

皆様、今年もどうぞよろしくお願いたします。

業務課長 小田切勇治

組合も「おかげさま」で創立45周年を迎え、50周年に向けた新たな5年間のスタートします。足場をしっかりと固めるためにも、今年は一整理「一整理」

「掃除」に気を付けていきたい。「整理」は必要のないものを捨てる「選択と集中」、「整頓」は仕事をし易く整える「仕組み化と改善」、「掃除」は綺麗にする「注意力と美意識を高めること」につながります。

今年の干支である「巳」のように、執念深く、我慢強く取り組み、そして、いつも「おかげさま」で感謝の心を忘れない一年にしたいと思います。

業務部主査 西田一実

昨年は家族が一気に増え、慌しくも楽しい毎日を過ごせました。

しかし、仕事面では、目標として掲げていた「目配り(周囲に目を向け)・心配り(手抜きがないよう注意)・心配り(相手のことを考えて行動)」が不十分であったと反省するばかりです。

今年「忙しい」を言い訳にせず、元気・やる気・本気で、目標達成のために、逃げず・ごまかさず・あきらめずに何事にも取り組みます。

組合員企業の発展の一助となれるよう頑張ります。

業務部主査 佐々木秀家

今冬の降雪が気になり胃が痛い状況です。皆様、除雪は体のあちこちに負担をかけます。どうかご自愛なさって除雪作業をお願いいたします。

総務部主事 五十嵐敦

昨年は振り返りますと、年明け早々例年以上の豪雪に見まわれ、多くの組合員様にご苦労されたかと思えます。

今年も、穏やかな冬であってほしいなと思うのと同時に、組合員様にとつて、また自分自身にとつて、さらなる飛躍の年になりますことを切に願います。

業務部主事 館山壮一

今年の6月には青森の姉妹都市函館で、市電開業百周年という一生に二度とない大イベントが待っています。青森から声援を送るとともに、仕事も私生活も、捲土重来の意気込みで充実させていきたいと思えます。

総務部主査 成田賀子

昨年は足踏みしてしまいました。今年も初心に戻り、へびの様に恩を忘れず、蛇行しながら大きくおがって(成長して)いきたいです。

郵便局窓口担当 小又栄子

昨年は、ただ時間に追われているうちに、一年が過ぎました。今年も、気持ちと時間に余裕を持てる年にしたいと思えます。まずは、頭をすっきりさせ、自分を見つめ直していきます。

子供達は、ごまかしがきかない年になってきたので、手本となる行動をし、「へび」な問題も乗り越えていける知識の向上に努めて参ります。

笑顔いっぱい的一年になりますように。

総務部主事 田中静香

昨年、問屋町ストア↓総務部へと予期せぬ異動となりました。それまで、身体と口を動かす毎日だったので、今は対照的に、それらを一切使わず、ただPCと向き合う毎日となり、とまどいを隠せずにおります。

今年も入社7年目となります。そろそろ事務局内でも中堅どころとなり、いつまでも新人気分ではいられなくなつてまいりました。責任ある仕事を任されても物怖じせず、果敢に攻めてまいりたいと思えます。

総務部主事 村上綾野

ずっと20歳だと思っていました。今年とうとう四捨五入すると30歳という、25歳を迎える年となりました。

そんな今年の目標は、いろいろな蓄をたくさん開花させられるような年になりたいと思えます。

仕事、プライベート、今しか出来ないことを精一杯頑張っていきます！

問屋町ストアパート 外崎由佳

売店に勤務して1年が過ぎました。今年も一期一会を忘れず、たくさんのお客様にお会いしたいと思っております。

皆様のご来店を心よりお待ちしております。

問屋町ストアパート 成田あすか

売店に昨年8月より仲間入りさせていただきました。

まだまだ未熟者ですが、今年も皆様に1回でも多く足を運んでいただけるような店づくりをしていきたいと思っておりますので、お近くまでお越しの際はご来店頂きますと幸いです。

青森問屋町配達部業務部長 佐藤博善

昨年は、組合員の皆様をはじめ多くの方々にお世話になり、誠にありがとうございました。

私達、運送業界は、東日本大震災復興元年ということもあり、本当に忙しかつたイメージが強いかもしれませんが、今年も皆様方のお力をお借りして、日々精進していきたいと思えます。

最後に、平成25年巳年が皆様にとつて良い年でありますよう祈念致します。

平成25年(2013年)は 青森市最大の流通拠点として スケールメリットを活かしたビジネスタウンを目指す

積極的な情報発信と共に 組合加入を促進

平成24年度は、創立45周年を迎えるとともに、12月末での組合員数が近年最高の144社と、順調な組合運営を行うことができた。

組合へ多くの企業が加入いただけただけは、これまでの幅広い広報活動、景観や物流事業の積極的な展開、団地内施設の有効活用等の成果であると言える。引き続き、リニューアルした組合ホームページやパブリシティ、関係機関等による組合事業の積極的な発信を行い、組合への加入促進につなげたい。

組合及び組合員施設の老朽化に伴う再整備や、新規加入に伴う資産取得については、卸団地加入メリットの一つで

ある高度化資金の活用を促していきたい。

今年3月で期限を迎える「中小企業金融円滑化法」の目に見えない影響も心配されることから、金融面に関しての情報収集にも取り組む。

また、卸団地の重要なインフラでもある「青森市はまなす会館」「青森産業会館」が開催する各種事業との連携も強化し、組合員従業員が広く卸団地のメリットを享受できる環境を整備したい。

人を引きつけるまちづくり 景観第9期計画

街並・景観整備プランニング(平成16年度策定)において、基本理念を「青森の新たな顔として緑と花に囲まれ美しく、心地よい、賑わいのあるまち」とした。それか

ら8年間、「問屋町」ロゴマークを中心としたVI(ビジュアル・アイデンティティ)を中心とした事業展開を図り、従前の街並みから大きな変貌を遂げた。特に問屋町の各入口に配置されたモニユメントは、ランドマークとして広く定着した。今期も車両マーキングの積極的な配付など着実にVI活動を推進し、「問屋町」ブランドの向上を図る。

景観整備事業では、第二問屋町地区の街路樹植ハーブ植栽計画が予定どおり完了したことから、平成25年度は問屋町地区の街路樹の景観整備を計画するほか、問屋町フードコート2号店誘致にも取り組む。

また、卸団地へのアクセス環境を向上させるため、団地外への取付道路の整備についても関係機関との協議を行うなど、検討を行いたい。



青森総合卸センター空撮写真(平成24年8月撮影)



しっかり定着した
車両マーキングシール

学び、つながり、そして広がる 人材が集う問屋町へ

平成23年度の「人づくり元年」を受け、平成24年度は着実な事業実施を進めた。「問屋町ビジネススクール」は、組合員をはじめ青森市内外企業や個人からも広く受講申込み

があり、人材教育研修施設として定着しつつある。青森市の数少ない「学び場」として利用いただけるよう、受講ニーズに合った研修カリキュラムを研究し、提供していく。

労働対策事業では、「問屋町納涼パーティー」「問屋町従業員ふれあいパーティー」に加え、平成24年度は、実験事業として若手従業員を対象とした「問屋町婚活パーティー」を平成25年2月に開催する。

これら交流機会の創出により、問屋町に働く人々が、これまで以上に親密に、そして愛着をもって働けるようなビジネスタウンを目指したい。

ニーズの変化に合わせた 物流事業の提供



問屋町ビジネススクール

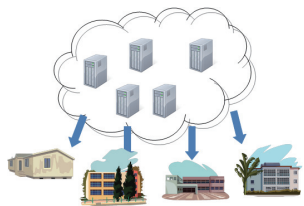
平成23年12月にオープンした「問屋町トランクボックス」は、利用しやすい面積や高いセキュリティなどが好評で、順調に稼働率を伸ばしている。このように利用者ニーズは多様化する傾向にあり、これに柔軟に対応していく必要がある。

東日本大震災後、青森市における物流も変化しつつあり、共同倉庫や中古物件等、卸団地内のインフラを有効に活用し、効果的な物流事業を展開していく。

これまで当組合では様々な新規事業に取り組んできた。これと同様、全国の卸団地でも多くの新規事業が展開されている。平成24年度に当組合でも検討委員会を設置して調査研究に取り組んでいる保育所誘致もその一つ。卸団地への保育所設置は全国で既に2団地が実施している。

また、東日本大震災を契機に各事業所においてBCP(事業継続計画)の策定が進められていることも多い。これを補完する事業も受け、これには、企業の重要な経営資源である基幹システムデータを遠隔地にバックアップする「クラウドシステム」や災害時等にすぐに社員と連絡とることができる「安否確認サービス」がある。

これ以外にも省エネや防災、カーシェアリングなどもあり、先進卸団地の事例を調査研究し、これからの新たな事業展開を模索したい。



クラウドシステム
(イメージ)

先進卸団地の事例から 新たな事業展開を模索